

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

秘

追加第四號

日本製鐵株式會社第十二回營業期
自昭和十四年四月
至昭和十四年九月
事業計畫書追加

日本製鐵株式會社第十二回營業期 自昭和十四年四月一日至同年九月末日 事業計畫書追加

一、二 投資

一、日鐵鑛業株式會社ニ對スル投資

鐵鋼ノ急速ナル増産計畫ニ伴ヒ製鐵原料確保充實ノ根本對策ヲ樹立スルコトハ重要且急務中ノ急務ニシテ之レニ關シテハ曩ニ製鐵合同當時既ニ政府ニ於テ其ノ大綱ヲ定メラレ爾來引續キ慎重研究中ノ處愈々其ノ機運ニ到達セルヲ以テ標記日鐵鑛業株式會社（公稱資本五十萬圓）ヲ設立シ之ヲシテ一急務心右目的達成ニ當ラシムルヲ適當ト認メ弊社現有諸鑛山ヲ一括出資シ次デ釜石輪西兩鑛山會社所有ノ諸鑛山ヲ買收シ上之レガ統一經營スルノ外増産設備ヲ施行シ進ンデ廣ク新資源ノ探求開發ニ當ラシメ依テ以テ弊社製鐵原料供給ノ豊富圓滑ヲ圖ラムガ爲メ尤記ノ通出資セムトス

出資總額 五〇、〇〇〇、〇〇〇圓（一、〇〇〇、〇〇〇株ニ付 五〇〇圓）

内 詳

(一) 現物出資

二三、〇〇〇、〇〇〇圓

（全額押込清ノ株式 四七、〇〇〇株取得豫定）

弊社所有ノ尤記諸鑛山設備ノ全部

(イ) 二瀬、稻葉、鹿町、沈野、泊岸、各炭山

(ロ) 上善茂別、庭坂、赤谷、粟ヶ嶽、戴寧、清川、殷栗、下聖、各鐵山

(ハ) 日野 ^上、クローム鐵鑛山

(ニ) 中谷、津久見、高山、佐川、松ヶ江、大連、各石灰石又ハ苦灰石山

(ホ) 畑、横林、松ヶ江、各珪石山

(ヘ) 越知谷蠟石山

(ト) 賢木粘土山

(二) 現金出資

二七、〇〇〇、〇〇〇圓（五四〇、〇〇〇株）

押込豫定元ノ如シ

第一回分拂込 一三、五〇〇、〇〇〇圓 （本營業期支出豫定 一株ニ付 二五圓）
第二回以後拂込 一三、五〇〇、〇〇〇圓 （押込時期未定）

右拂込金ハ本期事業計畫書於テ此資金計畫ニ順ヒ之ヲ處辨スルノ見込ナリ

但シ發起人引受株ニ對シ拂込ハ之ヨリ除クモトス

日本製鐵株式會社第十二回營業期支出更正豫算
支出

項 目	既認可申請豫算額		追加額	更正額		備考
	本科目 直接支出額	作業費 分担額		本科目 直接支出額	作業費 分担額	
起 業 費 (項以下省略)	三五三〇五七	五六八七五	〇	〇	三五三〇五七	〇
出 資 金	五五〇二〇〇	〇	三五〇〇〇〇	〇	五五〇二〇〇	〇
華中製鐵株式會社出資金	五五〇二〇〇	〇	三五〇〇〇〇	〇	五五〇二〇〇	〇
本岩方面諸鐵經營特別勘定會付金	〇	〇	〇	〇	〇	〇
長崎製鐵株式會社出資金	五〇〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇	〇	五〇〇〇〇〇	〇
北鮮拓殖鐵道株式會社出資金	四〇〇〇〇〇	〇	四〇〇〇〇〇	〇	四〇〇〇〇〇	〇
華中鐵道株式會社出資金	三五〇〇〇〇	〇	三五〇〇〇〇	〇	三五〇〇〇〇	〇
計	四九六九元二	〇	三五〇〇〇〇	〇	四九六九元二	〇

項 目	既認可申請豫算額	追加額	更正額	備考
作 業 費 (項以下省略)	五六八七五	〇	〇	五六八七五
出 資 金	〇	三五〇〇〇〇	〇	三五〇〇〇〇
計	五六八七五	三五〇〇〇〇	〇	四〇六八七五